



第18回「八重山まつり」祝辞

竹富町長 西大舩 高 旬

本日ここに、東京圏域に居を構えた八重山出身の皆様や、各郷友会の連合体であります、東京八重山郷友連合会が、「八重山はひとつ」の合い言葉の下、第18回「八重山まつり」を開催されますことに対し、心から喜び、お祝いを申し上げます。

皆様のふるさと八重山では、去る3月21日（水）に、海開きが開催され、今、正に「うりずん（若夏）」の季節真っ盛りで、夏の到来を感じる季節となりました。

東京においても新緑の若葉が芽吹く、一年を通して、最も過ごしやすい季節を迎えていることだと思えます。

さて、東京八重山郷友連合会は、「会員相互の親睦と共栄を図ると共に、郷土八重山の発展に寄与する」ことを目的に活動を続けて参りました。本日の「八重山まつり」も、会活動の一環として、ふるさとを遠く離れた皆様が、一堂に集って開催される催しであり、今では多くの会員皆様の、心の拠り所として、回を重ねて参りました。一つの祭りを続けることの難しさや厳しさは、私たちの想像に及ばないものだと思うものであり、ふるさとを離れて暮らす皆様が、ふるさとへの思いを持ち続けてこられたことに対し、また、東京八重山郷友連合会を支えてこられました歴代の会長をはじめ会員皆様に改めて、深甚なる敬意を表するところでございます。

昨年、八重山には、138万人余の観光客が訪れ、多くの方々に、八重山の美しい自然や地域に根ざした伝統文化を満喫して頂いたと自負するものでございます。東京八重山郷友連合会の皆様におかれましては、いつまでもふるさと八重山を思う心を忘れず、これからの会活動に精励して頂きたいと願うものでございます。

竹富町においては、今年度、町制施行70周年の記念すべき節目を迎えます。70周年の記念事業といたしまして、9月24日（月）には、竹富町島々の民俗芸能発表公演を東京国立劇場において、開催する予定でありますので、大勢の会員皆様のご来場をお持ちしております。

結びに、「第18回八重山まつり」のご盛会と、東京八重山郷友連合会のご発展と併せ、役員はじめ会員皆様のご健勝とご多幸を心よりご祈念申しあげ、お祝いの言葉といたします。